

研究概要およびお願い

【課題名】

日本におけるたこつぼ症候群大規模多施設レジストリー- JapanTAK Registry -

【研究機関】

河北総合病院 千葉大学医学部附属病院

【背景】【目的】

たこつぼ症候群は、胸痛や心電図異常など急性冠症候群に類似した臨床像を示し、一過性の「たこつぼ型」左室壁運動異常を呈するものの冠動脈に有意狭窄を認めない疾患で、1990年に我が国において世界で初めて報告された比較的新しい疾患概念です。その頻度は急性冠症候群の1-2%と比較的稀な疾患であり、未だその病態は十分には解明されておらず、治療法や予防法も確立していません。患者の90%程度が女性、特に閉経後の高齢女性に多いことが報告されており、明らかに心筋梗塞の患者群とは異なっていますが、性差の原因については明らかとなっておりません。女性は男性に比べ予後が良好であることなど、性別間で臨床像が異なることも報告されています。

たこつぼ症候群は比較的頻度の少ない疾患であり、2000年代までは症例報告や小規模な単施設研究が中心であったため、その臨床像、特に予後に関しては十分に分かっていませんでした。近年、たこつぼ症候群の臨床像を明らかとするため世界各国から大規模レジストリーの結果が報告されるようになりました。日本からも過去最大規模のレジストリーを構築し、日本人のたこつぼ症候群患者における、より詳細な検討を行う必要があると考えました。

【方法】

2010年1月から2021年12月までに本研究参加施設に入院した患者のうち、たこつぼ症候群と診断された患者を対象に患者特性や転帰をカルテ上調査し必要時電話で情報を確認します。

【患者様への不利益】

カルテ上の調査のため不利益になることはありません。
またこの研究を拒否される場合も不利益になることはありません。

【本研究の情報公開について】

循環器関連学会への報告や関連誌への投稿を予定します。

【個人情報等の取り扱い】

カルテで得られた情報をExcelファイルに集計しパスワードロックをかけます。患者氏名やIDは記載せず症例番号のみで匿名化し、ファイルは病院長によって保管されます。またデータの廃棄につきましては、少なくとも研究終了報告日から5年、または最終の研究結果報告日から3年の、いずれか遅い方まで保管

し、それ以降に廃棄します。

ご不明な点や研究を拒否される場合等ありましたら、河北総合病院総合受付：
03-3339-2121 までかけていただき、循環器内科の片野につなぐようお願い下さい。